



赤い琉球瓦に犬のシーサーを載せた沖縄らしいホテル棟(右)とカフェ棟(左)

わんそーれおきなわ古宇利島

木造建築に琉球赤瓦を頂いた海が見えるドッグカフェ&ホテル

世界遺産に登録された沖縄県やんばる地域に近い古宇利島は周囲約8kmの島。古宇利大橋が2005年に完成したことにより、古宇利島は多くの観光客が訪れる場所となった。そこに2023年4月にオープンしたのが愛犬と一緒に過ごせる、プライベートドッグランを備えた宿泊施設「わんそーれおきなわ古宇利島」。平屋のホテル棟(78m²)とカフェ棟(76m²)で構成されており、ホテル棟では約5×10mの吹き抜けLDKとオーシャンビューの大開口が開放的な空間を創り出している。株式会社なんくるない社の代表取締役

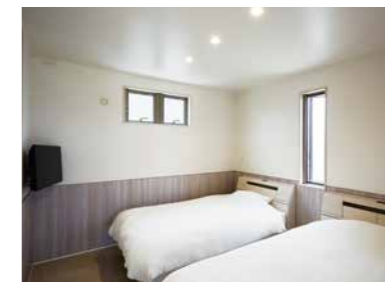
甲斐 賢吾氏は、「沖縄では台風やシロアリの被害が多いため木造建築は少ない。今回は琉球瓦を載せた沖縄らしい施設にしたかったが、木造では強度も不足。温かい雰囲気を出したかったのでRC造や鉄骨造は避けたいと設計事務所に相談したところ、テクノストラクチャー工法を紹介された。海の近くなので風も強いが、木と鉄の複合梁テクノビームを用いることで大開口のサッシによる海の展望が確保でき、構造計算により強い風にも耐えることが分かり、安心して宿泊していただける施設ができた。会員制で運営しており、「愛犬とここに泊まるために沖縄に来た」と言われる施設をめざしている」と語る。

わんそーれおきなわ古宇利島

所在地／沖縄県国頭郡今帰仁村古宇利
 事業主／株式会社なんくるない社
 設計／studio code 一級建築士事務所
 施工／株式会社ジーアール
 竣工／2023年4月
 建築工法／テクノストラクチャー工法



梁を現しにした広々とした空間をアッパーライトで照らしてリゾート感あふれるシーリングファンを配置。テクノストラクチャー工法で実現できた大開口サッシ越しに海が望める



別室の寝室を利用することで計4名が宿泊可能



犬に配慮して設けられた腰板コンセントも高い位置に設置



シーサーなどが飾られたカフェ



瓦屋根を支え、強風にも対応するテクノビーム(工事中写真)

主な納入設備

●内装建具 ●造作材 ●洗面化粧台 ●LED照明 ●Lシーリングファン